



瀬田貞二によるスケッチ画
1965 個人蔵

翻訳、評論、編集、創作など、幅広い分野で日本の現代児童文学を牽引してきた瀬田貞二(1916-1979)は、幼い頃から読書に親しみ、終戦後は「自らのあらゆる能力と時間を、子どもたちにむかって解放しなくてはならない」と決意し、平凡社で『児童百科事典』の編集に携わります。

これをきっかけに子どもの本の世界に本格的に足を踏み入れた瀬田は、昭和32年(1957)に平凡社を退社すると、「自分流に子どもの本とつきあう暮らし」をはじめます。

瀬田は、昭和26年(1951)から亡くなるまでの30年近くを埼玉県浦和市(現・さいたま市)で過ごし、『三びきのやぎのがらがらどん』や『おだんごぼん』などの海外の昔話の翻訳をはじめ、「指輪物語」(J.R.R.トールキン 作)や「ナルニア国ものがたり」(C.S.ルイス 作)などのファンタジーの翻訳、『お父さんのラッパばなし』や『きょうはなんのひ?』といった創作にいたるまで、多くの作品を世に送り出しました。

本展では、瀬田が手がけた図書や雑誌のほか、原稿やスケッチなどの貴重な資料を通して、多岐にわたる瀬田の業績を振り返り、長年にわたり子どもたちに愛され続けてきた作品の魅力に迫ります。

関連事業

1 記念講演会「瀬田貞二さんのまなざし」

瀬田と長年親交のあった斎藤惇夫氏に、編集者として作家として、瀬田から教わった様々なことを具体的にお話いただきます。

日時 9月26日(土) 14:00~15:30 (開場13:30)

会場 さいたま文学館 文学ホール

講師 斎藤惇夫氏(元福音館書店編集者・児童文学者)

定員 200名(事前申込制・先着順) 参加費無料

申込方法 さいたま文学館まで電話(048-789-1515)
もしくは3階事務室にて申込受付(先着順)。

2 企画展スライドトーク

企画展担当職員が、本展の概要やみどころなどをスライドで説明します。

日時 11月14日(土) 14:00~15:00 (開場13:30)

会場 さいたま文学館 文学ホール

定員 200名(当日先着順) 参加費無料

事前申込み不要。当日直接会場にお越しください。

3 担当職員による展示解説

展示室にて、企画展担当職員による展示解説を行います。

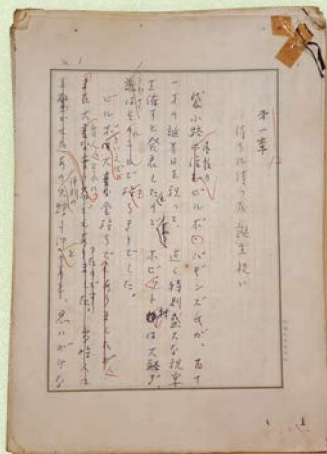
日時 9月30日(水)、10月21日(水) 各日 14:00~14:30

会場 さいたま文学館 企画展示室

事前申込み不要。14:00に企画展示室にお集まりください。



『児童百科事典』全24巻 平凡社 1951-1956 個人蔵



直筆原稿「指輪物語 旅の仲間(上)」
瀬田貞二・田中明子(共訳) 個人蔵



挿絵原画「指輪物語 旅の仲間(下)」
寺島龍一(画) 評論社蔵

9/8 ~ 11/23

特集展示コーナーにて、 瀬田貞二コラム展示を開催!

※瀬田貞二が収集したおもちゃ絵などを展示します
(おもちゃ絵は会期中、定期的に展示替えを行います。)

「かちかち山」歌川芳盛(画) 1858 個人蔵
※当資料は作品保護のため、展示していない場合がございます。



さいたま文学館



10/10(土)、11/14(土)開催の「おはなしのへや」では、瀬田貞二の絵本の読み聞かせも予定しています。

10:30~11:30(10:00~受付、講座室2)

講師: 桶川子どもの本の会



文学図書室にて瀬田貞二関連書籍をご覧いただけます。